巻頭特集

15年分の感謝を込めて

2022年11月号をもって15周年を迎えたよっかいちai。
15年間でよっかいちaiは実に180号を発行してきました。
読者の皆さんはどの号（表紙）に思い入れがありますか？
そこで今回はスタッフが厳選した表紙を紹介します。
皆さんとよっかいちaiの歴史を振り返られれば幸いです。
読者の皆さん、ご掲載店様、よっかいちaiに
かかわるすべての人へ感謝を込めて。

Dear 読者のみなさま

さんしぃちゃん

よっかいちaiスタッフと読者のみなさんからのアイデアを募って生まれたキャラクター！名前の由来は、よっかいちaiを配布している四日市市と菰野町・朝日町・川越町が「三河地区」と呼ばれていることから！

よっかいちaiスタッフお気に入りの表紙

2022年8月号 Vol.178

地元に愛された祭りを知ることが出来、嬉しかったです。表紙の「ごにゅうどうくん」も可愛くてお気に入り！

毎月、ご愛読および読者ハガキを送付いただきありがとうございます。地域を明るくHAPPYにできる情報誌を目指していきます。♥ちゅる

2021年12月号 Vol.170

「子ども食堂を広めたい、挑戦したい」の声が多数！読者の方からの支援など、感動の物語も生まれました。

読者ハガキや掲載店舗様のお声から、皆さんの存在をいつも近くに感じています。より良いものをお届けできますように。♥みっ

2021年2月号 Vol.160

この号の主役・ガントリークレーン。幼少期の頃から気になっていた機械を取り上げることができました。

はがきやお電話にてお褒めの言葉や叱咤激励など、リアクションをいただけることが励みになっています！♥ひろ

2020年2月号 Vol.148

夜景が好きなこともあり、このコンビナート夜景は四日市に引っ越してきてからお気に入りのスポットです。

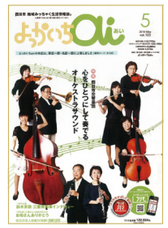
入社して約半年、制作に携わるようになりよっかいちaiの歴史を感じています。皆さんと一緒にこの街をもっと元気に！♥れい

2019年4月号 Vol.138

これまでのよっかいちaiを思い起こした時に、一番に浮かんだ思い入れのある特別な表紙です。

いつもご愛読いただきありがとうございます。故郷である四日市と関わることができ、今後も街と共に成長していきます。♥551

2016年5月号 Vol.103



音楽が好きなので、交響楽団の存在を嬉しく思います。“音楽が街を元気にする”にぴったりな表紙！

よっかいちaiを初読した時のわくわくは今も忘れられません。歴史を作ってくださった地域の皆さんに感謝を込めて。♥さいみー

2015年6月号 Vol.92

今はもうみられないカラフルな車両のあすなろう鉄道！aiは南北版の他に中央版の3誌を発行していた時期も。

人生の半分を四日市で生きてきました。これからも地元ファーストで主婦目線の誌面作りに励みます。♥ゆか

2011年5月号 Vol.43

自分に何ができるか？何をしなければいけないか、考える機会を与えてくれた表紙です。

創刊当初58,200部から123,653部まで成長しました。皆さんの生活の一部にしていただけるよう、20周年を目指していきます♥銀オン

スタッフからのコメント

市長・町長からのメッセージ

菰野町 柴田孝之町長

よっかいちai15周年おめでとうございます。北勢随一の観光のまち菰野町。御在所岳をはじめとする豊かな自然は四季折々の景観を楽しませてくれます。お住まいの皆様には、新技術と工夫で、どこに住んでも誰にでも住みよい、そんな夢と希望にあふれたまちを目指しています！

四日市市 森 智広市長

よっかいちａｉ創刊１５周年、誠におめでとうございます。これからも地域の身近な情報を皆さんにご提供され、愛される情報誌としてご活躍されることをお祈りいたします。さて、四日市市では、中央通りの再編に取り組んでいます。これから大きく変わっていく中心市街地にご期待ください。

朝日町 矢野すみお町長

創刊15周年おめでとうございます。日頃は地域情報誌として読者に地域の魅力をお届けいただいておりますことに感謝申し上げます。さて、朝日町では11月6日に文化祭とあさひ東海道まつりを開催致します。特に、東海道まつりは柿地区桜並木の整備完了を記念して朝明商工会と地元企業のご協力のもと開催されるものです。是非ご来場ください。

川越町 城田政幸町長

創刊１５周年おめでとうございます。地域密着・読者参加型の濃い地元情報誌として定着してきました。コロナ禍で遠出する機会が減る中、「よっかいちａｉ」を見て、“地域の魅力”を再発見した方も多いと思います。これからも地域の皆さんと一緒に、地元愛あふれる、魅力ある地域を創っていきましょう。

創刊号から変わらないよっかいちaiの思い

２００７年10月30日、「地元をもっと楽しく面白く、そして豊かに」をスローガンに、県内３誌目の地域みっちゃく生活情報誌®として創刊されたよっかいちai。本誌を発行する株式会社中広は、三重県内において現在９誌を展開しています。

地元の人物や歴史、伝統、文化、生活などの特集をはじめ、グルメ・スクール・ビューティー・ハウジングなどお店の紹介やお得情報、読者プレゼントなど、地域に密着した内容を毎号のコンテンツとしてお届けしてきました。

ところで、皆さんは「ai」の由来をご存じですか？四日市を再発見するアイ（目）として、誌上で人と人を結ぶ出会い（であい）の場として、そして愛（ＬＯＶＥ）される情報誌になれるようにという願いを込めてつけられました。３つの「ai」が、この15年間の誌面を表しており、たくさんの物語が生まれました。地元で育ち、よっかいちaiを作りたいと新卒で入社したスタッフもおり、着実に地域に根付いていることを実感しています。

小学生からお年寄りまで、幅広い年齢層の方々に読んでいただいているよっかいちai。家族や仲間のコミュニケーション誌として、今後もご活用いただければ幸いです。

よっかいちaiのあゆみ

２０１４年７月号Ｖｏｌ.８１から「北部版」「中央版」「南部版」の３種類に分かれて配布されるようになりました。同年10月号には「フリモＡＲ」を導入。ＡＲ（拡張現実）とは、現実の世界の中にＣＧでつくられた映像やキャラクターなどのデジタルコンテンツやデータを重ねて表示することで、現実世界を「拡張」する技術のことです。誌面を超えて、動画や音楽などＡＲコンテンツを気軽に楽しんでもらえるようになりました。

２０１７年４月号Ｖｏｌ.１１４には現行の「北部版」「南部版」になりました。

２０２２年11月号Ｖｏｌ.１８１では１２３，６５３部（75％の世帯をカバー）を発行する媒体へと成長しました。

情報誌×ウェブのチカラで、もっと地域を元気に！

読者の皆さんへ地域にみっちゃくした最新情報をお届けするために、編集室スタッフは日々アンテナを張り、楽しんでもらえるコンテンツを考えています。そのため、はがきやＬＩＮＥなどを通じて寄せられるコメントは、どれも私たちにとってかけがえのない財産です。スタッフ全員が目を通しており、情報誌の企画や特集の参考にさせていただいています。

そして、お得情報を楽しみにしてくださっている方も多いはず。創刊以来、紙のクーポンをお届けしてきましたが、２００９年には地域ポータルサイト「フリモ」を開設し、携帯電話でウェブ上のクーポンを利用できるシステムを取り入れました。２０２１年４月には、さらなる紙とウェブの共創を図るため、モバイルアプリ「フリモ」をリリース。このアプリがあれば、よっかいちai掲載エリアはもちろん、全国の姉妹誌の情報も得ることができます。もし、まだダウンロードしていないという人はこの機会に活用してみてください。

よっかいちaiは皆さんのおかげで15年という節目を迎えられました。さらに地域にとって無くてはならない存在になれるよう日々進化を目指しています。

よっかいちaiがポストに届くまで

発行

確認した原稿から印刷会社にデータを渡して、印刷してもらいます。発行日に印刷所からトラックで最新号が届きます。

校正

原稿をお店の方に見せ、内容を確認。原稿のOKをもらったら全原稿を集め、間違いがないかスタッフ総出で２日以上かけて確認！

企画会議

よっかいちaiの全体のテーマを決め、読者はがきの要望やお店の方の意見を取り入れながら、月ごとの企画内容を確定！

ポスティング

完成したよっかいちaiは、配布員さんが１軒１軒ポスティング。暑い日も雪の日も手配りで配布エリアのお宅へ届けます！

原稿作成、デザイン

読者に伝わりやすい文章を心がけ推敲を重ねます。デザインでは、目に留まるビジュアルを意識。

営業、取材、撮影

毎月お店へ伺って企画をご案内。お店の良さや発信したいことをお伺いします。撮影も光の具合や背景など、細部までこだわります。

文・写真/よっかいちai編集室　写真提供/四日市市役所、菰野町役場、川越町役場、朝日町役場　デザイン／chica